

# 「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【栃木県の作柄概況】

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）

1 栃木県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は5万9,200haで、前年産並みとなった。

また、主食用作付面積は5万4,900haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が平年並み、1穂当たりもみ数がやや多いことから「やや多い」となった。

3 登熟は、8月上旬以降の高温・多照の影響により「平年並み」が見込まれる。

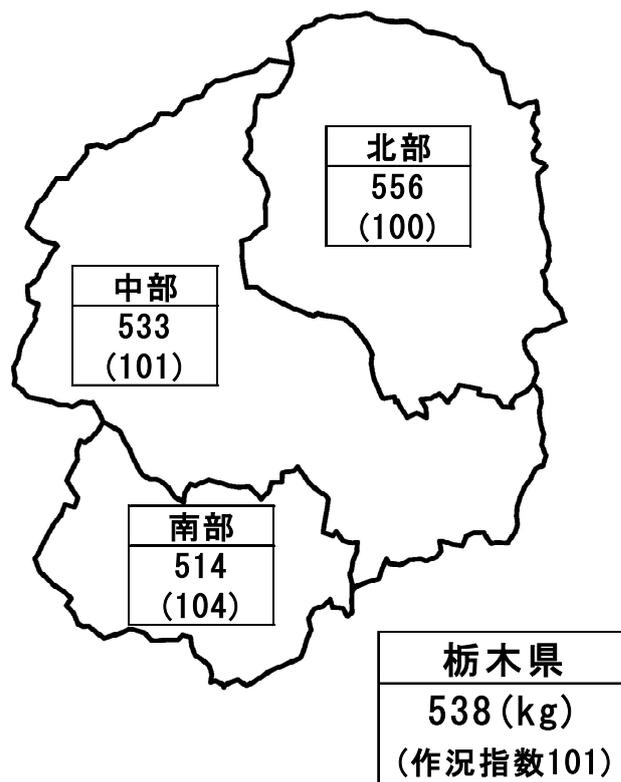
4 この結果、栃木県の10a当たり予想収量は538kgで、前年産に比べ12kgの増加が見込まれる。

また、作柄表示地帯別では、北部で556kg（前年差に比べ5kg増加）、中部で533kg（同8kg増加）、南部で514kg（同26kg増加）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.85mm）で選別された栃木県の作況指数は101が見込まれ、作柄表示地帯別では、南部で104、中部で101、北部で100が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は31万8,500tで、前年産に比べ7,100tの増加が見込まれる。

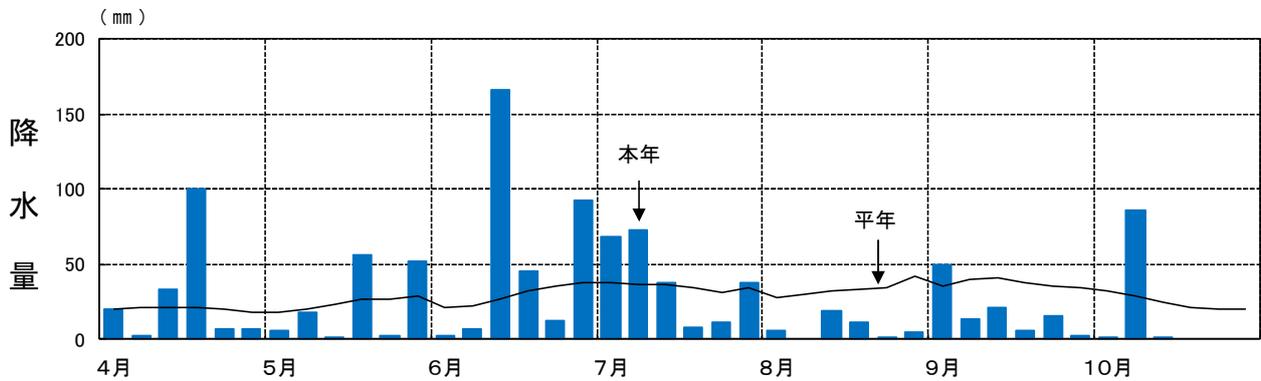
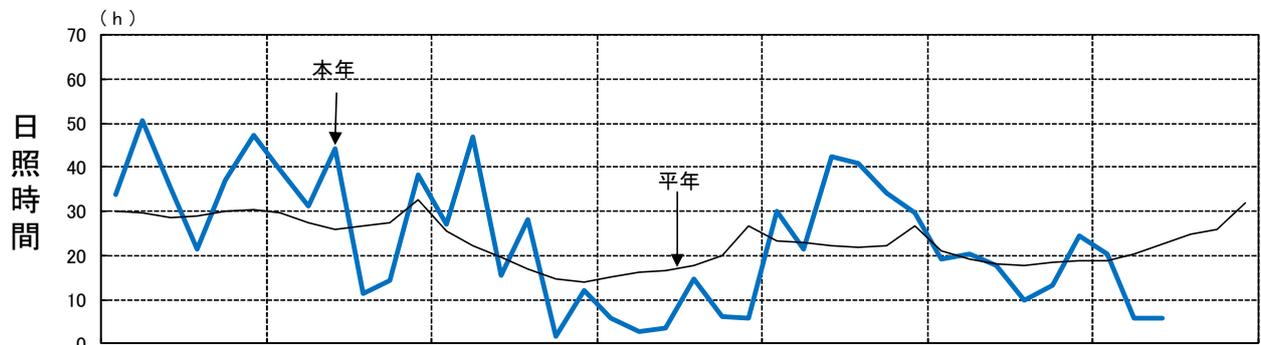
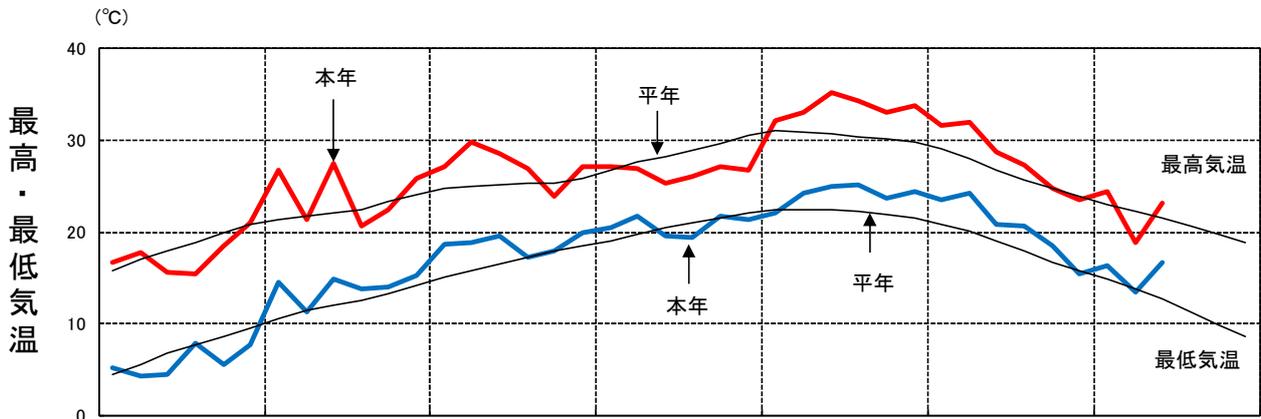
また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は29万5,400tで、前年産に比べ6,600tの増加が見込まれる。



○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。  
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和2年 半旬別気象（宇都宮）



資料：気象庁

田植期  
5/7(±0)

出穂期  
8/4(+5)

刈取期  
9/22(Δ1)

注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
なお、( )内は、平年との遅速(日数)を示す。

### お問合せ先

◎本統計調査結果について  
関東農政局 栃木県拠点 統計チーム  
電話：028-633-3106  
FAX：028-633-9271